



やまなみ

【学校教育目標】

- 思いやりのある子
- 進んで学ぶ子
- たくましい子

令和 元年11月1日
熊谷市立太田小学校

★やさしく ★まじめに
★なかよく ★みんなで

【明治6年 創立】

信は力なり!

校長 梅澤 修

9月20日の開幕以来、ラグビー日本代表の活躍により日本中がラグビー熱で高まっています。太田小も去る9月29日(日)にジョージア VS ウルグアイの全校観戦を無事に終了しました。子ども達一人一人の心に響くものがあつたらとてもうれしいです。

既にご存知の方も多いかと思いますが、ラグビーワールドカップに触れる中で、印象的な話題に出会いましたので紹介いたします。

9月28日(土)日本 VS アイルランド、試合前にジェイミー・ジョセフ日本代表ヘッドコーチが選手に送った5行の俳句(英文)。

日本語訳すると、「誰も勝つと思っていない。誰も接戦になるとも思っていない。誰も僕らが犠牲にしてきたものは分からない。信じているのは僕たちだけ。」という内容です。

正直、多くの方がアイルランド代表に勝てるとは思っていませんでした。なぜなら、過去の日本 VS アイルランドでは、日本の9戦9敗。ワールドカップ開幕時点で、アイルランドは世界ランク1位だったからです。(2018年11月にニュージーランドに勝利)

しかし、終わってみれば日本代表の勝利。その後も勝ち続け、悲願のベスト8入りを果たしました。準々決勝こそ南アフリカに敗れてしまいましたが、この結果はジェイミー・ジョセフHCの5行の俳句が物語っています。

RWC ベスト8という目標に向けて、日本代表は年間250日の合宿を行い、世界と戦う準備をしてきました。日本代表レベルの選手でさえ、「できれば二度とやりたくない。」というくらいのハードな練習だったそうです。

RWCを通して日本代表が私達に教えてくれたものは何かと考えたとき、私は次の3点ではないかと思いました。

①目標を明確に立て共有すること。②信念をもって継続、努力すること。③自分自身を信じ、仲間を信じること。なかなかできることではないかもしれませんが、しかし、見習いたい取り組みとして心に留め置きたいです。

《11月の生活目標》

ろう下は静かに
右側を歩きます

【太田小 9月~10月】
タグラグビー教室



RWC・国歌斉唱



ジョージア VS ウルグアイ



アルカスクイーン
熊谷の
皆さんと



3・4年校外学習



1・2年校外学習